



岡野クリニック にゅーす

医療法人社団 貴昌会

岡野クリニック

〒343-0808

越谷市赤山本町7-2

☎048-969-0223 FAX048-969-0224

特集コーナー 「物忘れ」

加齢に伴い、大いなる心配事のひとつに「物忘れ」があります。「加齢による物忘れ」と「認知症」の違いについて簡単に説明します。忘れたことを覚えていたのが「物忘れ」忘れたことを自覚しており、ヒントがあれば思い出せます。日常生活に支障はなく、判断力は低下しません。一方、忘れたことを忘れていたのが「認知症」物忘れの自覚がなく、体験したことを忘れてしまい、思い出すヒントを与えても思い出すことはできません。進行すると自分の年齢や住んでいる場所がわからなくなる、料理中に火を付けたまま忘れる、など、日常生活に支障をきたします。認知症は早期発見が大切です。原因やタイプによっては進行を遅らせたり、適切なケアによって改善することもあります。初期の認知症と加齢による物忘れの区別が難しいので、「もしかしたら」と感じたときにはかかりつけ医に相談するようにしましょう。

訪問看護日誌



私が訪問看護で担当している患者さんは高齢で一人暮らしの方が多く、認知症状、歩行障害、在宅酸素をしている方など、独りでは心配な方ばかりです。ご家族と同居なさっていても、日中、家族が仕事で留守の場合、状況は似てきてしまいます。そんな状況を踏まえて、私たちは患者さんに今必要

なものは何かを見極めご提案をしています。一人での時間を減らすために、ケアマネジャー等と相談し、デイサービスやショートステイの利用。生活動線の調整を考え、手すりの設置や必要に応じての家具の移動。訪問入浴や入浴介助サービス、ヘルパーに家事全般（買物、料理、掃除等）の手伝いを依頼。筋力低下を防ぐための訪問リハビリの利用。緊急時に家の中に入れるようにキーボックスの設置など、多職種との連携をとりながら生活のサポートをしています。今後も、安心してご自宅で過ごして頂くために何が必要か、多職種で協力していきます。

ひびくつむ



梅雨も明けていないのに、うだるような暑さです。年々、熱中症の注意を呼びかける時期が早くなっています。特に高齢者は、暑さを感じにくくなっており、熱中症になったことに気付かずに行進して重症化してしまうのです。外出の際にも水筒を持参するようにして、喉が渇いていない時でも、小まめに水分をとるようにしましょう。また夜間や就寝中に発症することもあるので、室温28℃、湿度70%を越える場合はエアコンを利用するようにしてください。

リハビリケア岡野です



2年前、腰部脊柱管狭窄症の手術を受けたSさんは、術後の経過も良好で、退院後、当院の訪問リハビリを開始しました。当初の目標は階段の昇り降りです。お教えしたトレ

すたっふ便



香味野菜の代表格のみょうが。日本各地に自生していますが、野菜として栽培しているのは日本だけです。普段私たちが食べているのは、みょうがの地下茎から出る花穂で、花みょうがとも呼ばれています。みょうがの香り成分のアファビネンは、食欲増進、消化促進、血行促進、発汗作用などの効果があり、夏バテ対策に最適な食材です。

七月の予定一ヶ月

休診日 三日・六日・十三日・二十日・二十一日・二十七日

※三日(木曜日)は臨時休診となります。
※二十二日(火)は竹林医師がお休みの為、午後四時より院長が診療致します

医療事務スタッフを募集しています。
お問い合わせください。